



## ～戮力協心～

NO.22  
その2

2024年2月26日

発行責任者 池尻 和寛

編集責任者 情 宣 部

### その1からの続き↓

## 会社の回答

- ・会社の現在の立ち位置として、収入が上がっていない。物価高により賃下げ状態ということは認識している。
- ・4期連続の赤字は許されないことから、貴組合の要求にどれだけ近づけられるかがポイントである。
- ・生活給はベースアップで、業績給は期末手当という考えに変わりはない。
- ・23春闘の「低額回答」という厳しい指摘については理解する。しかし、社員に寄り添ったからこそ、微々たるものだが有額回答してきている。これまでならばゼロ回答だった。気持ちには応えているつもりである。
- ・離職について昨年度より増えてきている。しかし、退職理由として賃金が全てということではなく、理由は様々である。
- ・採用については採用市場が激化してきており、採用の工夫をしていかななくてはいけない。各鉄道会社などでも離職が止まらないと聞いた。鉄道業界の人气が下がってきていると実感している。

以上のように賃下げの状態を認めつつも、「収入が悪い」を前面に押し出し、賃上げ抑止姿勢を示しています。

率では不公平感がぬぐえないことから、青年部として「額回答」を強く訴えてきています。これから闘争ゾーンに入りますが、賃上げの三要素における労使の力関係において団結力を示していくためにも、職場からの闘いで団結力を示し、交渉を押し上げていくことが重要となってきます！

本部青は職場の声に寄り添い、最先頭で中央本部と共に闘っていきます！！

**完全「額回答」をかち取るために  
全青年部員で立ちむかえ！  
青年部組織の底力を見せつけよう！！**